



夢と希望をもって入学され、学生生活を無事に終えられ、本日ここへめでたく学業を果立っていかれます卒業生の皆様、栄えある門出を衷心よりお祝い申し上げます。ご卒業おめでとうございます。ご卒業物心両面で学生の皆様を支

えられたご父母の皆様にも心よりお慶び申し上げます。今まではご両親をはじめご家族の経済的支援に支えられた学生生活でありました。これから学生生活の皆様が一人前の社会人として、独立独歩の自立への道を歩んでいかれる

平成23年度  
学位記授与式

# 人生は修行の旅 己の可能性に挑戦を

学長 大野 榮 人

二、学士としての自信を  
学生生活を通して、人間としての基礎的教養と、それぞれの学部学科において専門知識を学ばれ、世の中の普遍的真実を見極める見識を身につ

くはなりません。まさに人生のスタート台に立たれたということができます。今日まで学問・研究を通して、人生で最も大切なことを学ばれたことと存じます。これからは、その学ばれたことを実社会の中で存分に実践していただくことを切望しております。

一、就職超氷河期での就活  
3月11日に起きた東日本の大震災、福島原発事故、円高、台風による被害等々と日本にとって最悪の経済状態が続いております。就職超氷河期といわれる経済不況の中で就職活動は、想像を絶する厳しさであったことと存じます。就職を希望される全員の学生の皆様の就職先が決定して、はじめて大学の責任を全うできるのですが、その責任を果たすことができませんでした。大学の責任において、ご卒業後も就職支援をさせて頂きますので、遠慮なく大学に足を運んで下さい。

人間には、本来、自分も知らない無限の可能性を生まれながら持っています。学生生活を通じて自分の可能性に挑戦して、それを手中にされた方もあることと存じます。まだ手に入っていない方は、社会での経験を積み重ねて可能性に挑戦して下さい。

これからの人生を、学士としての自信を持って、自分の可能性を信じ、何事にも前向きに取り組んで生きて頂きたいとお願ひ申し上げます。

三、生死事大無常迅速  
「六祖壇経」という禅の書物に、「生死事大無常迅速」という言葉があります。「生死」は生きていることと死ぬことをいいます。「事大」は人生において生と死を超越すること、我々にとって最も重要な命題であることを示唆します。「無常」とは生命はいつどうなるかわからないことをいいます。「迅速」は時の移り変わりの早いことをいいます。

今生きているこの生命は、何十年も生きているということが約束されているわけではありませぬ。与えられたこの生命は、常に断崖絶壁の真つ只中にあります。確実に言えることは、「いま」しかないということです。

そのことが自覚できるかどうかで、私どもの人生は大きく変わります。「いま」を生命がけで生きる以外に、別の生き方は無いといわなければなりません。一回限りの人生を後悔しない

ためにも、一歩を踏み出す勇氣をもって、あらゆることに挑戦してみよう。常に安定を求めて生きるのではなく、自分の殻を破り、一歩踏み出すことによって、未知の自分を発見することが出来ます。

四、己の可能性に挑戦を  
60数年前の敗戦後の何一つない時代にも、日本人は決して貧しさに負けることなく生き抜いてきました。日本人の一人ひとりが自分の可能性に挑戦するという、頑強な精神力を持っています。その頑強な精神力は、学生の一人ひとりのDNAの中に組み込まれております。

不況という逆境こそ絶好の契機であると捉え、自分の弱さから逃げることなく自分と向かい合い、自分の可能性を信じ、可能性に挑戦してみよう。そうすれば必ず道は開けます。

五、人生は修行の旅  
「華嚴經」という経典に、「人生は修行の旅である」という言葉があります。生きるということとは、自分を磨き続けることであり、終わりはありません。家庭や職場は修行の場なのです。いかなる困難にぶつかっても決して逃げることなく、耐え忍んで克服していかなくてはなりません。

私どもは縁あって人間に生まれました。一人ひとりは世の中で果たすべき役割を背負って生まれてきています。「自分」という人間は単純な存在ではなく、可能性に満ち溢れた存在です。

皆様の将来が、夢と希望に満ち溢れた人生となり、全力を投球し続けられ、決して後悔のない人生を過ごされますことを心からお祈り申し上げます。

平成23年度の学位記授与式は、文学部・心身科学部・商学部・経営学部・法学部・総合政策学部・大学院(歯学・薬学研究科を除く)・法科大学院は3月15日(木)日進キャンパス・百周年記念講堂、歯学部は3月9日(金)楠元キャンパス・百周年記念講堂、歯学研究科は3月9日(金)楠元キャンパス歯学部基礎教育研究棟、薬学部は3月19日(月)楠元キャンパス・百周年記念講堂。

今年も昨年度に引き続き就職氷河期と言われ、厳しい就職活動を通して就職を勝ち取ってきた。本学を巣立つ卒業生の皆さんが社会で活躍されることを祈念します。

平成23年度の学位記授与式は、文学部・心身科学部・商学部・経営学部・法学部・総合政策学部・大学院(歯学・薬学研究科を除く)・法科大学院は3月15日(木)日進キャンパス・百周年記念講堂、歯学部は3月9日(金)楠元キャンパス・百周年記念講堂、歯学研究科は3月9日(金)楠元キャンパス歯学部基礎教育研究棟、薬学部は3月19日(月)楠元キャンパス・百周年記念講堂。

今年も昨年度に引き続き就職氷河期と言われ、厳しい就職活動を通して就職を勝ち取ってきた。本学を巣立つ卒業生の皆さんが社会で活躍されることを祈念します。

# 学位記授与式表彰者

学位記授与式で送られる  
各受賞者は次のとおり。

## 【管長賞】

|           |        |         |       |
|-----------|--------|---------|-------|
| 宗教文化学科    | 横江 佳奈  | 現代企業学科  | 熊田 桃子 |
| 歴史学科      | 田中 明子  | 現代社会法学科 | 鶴見 前友 |
| 国際文化学科    | 鈴木 彩加  | 総合政策学科  | 高田 博子 |
| 日本文化学科    | 佐藤 未樹  | 医療薬学科   | 安田 絵美 |
| グローバル英語学科 | 杉山 亜侑美 | 歯学部     | 熊谷 静香 |
| 心理学       | 加古 恵里菜 | 歯学部衛生学科 | 林 利恵  |
| 健康科学科     | 土本 理沙  |         | 竹内 彩  |
| 健康栄養科     | 須藤 菜帆  |         |       |
| 商学科       | 加藤 裕太  |         |       |
| ビジネス情報学科  | 岸 桃子   |         |       |
| 経営学科      | 熊田 尋行  |         |       |
| 現代企業学科    | 鶴見 前友  |         |       |
| 法律学科      | 廣瀬 由樹  |         |       |
| 現代社会法学科   | 高田 博子  |         |       |
| 総合政策学科    | 安田 絵美  |         |       |
| 医療薬学科     | 熊谷 静香  |         |       |
| 歯学部       | 林 利恵   |         |       |
| 歯学部衛生学科   | 竹内 彩   |         |       |

## 【初代学長小出有三賞】

|           |        |
|-----------|--------|
| 宗教文化学科    | 芹野 悠樹  |
| 歴史学科      | 岡本 結希  |
| 国際文化学科    | 柴田 綾女  |
| 日本文化学科    | 石原 奈美  |
| グローバル英語学科 | 松本 沙夕  |
| 心理学       | 柳瀬 未希  |
| 健康科学科     | 倉田 員枝  |
| 健康栄養科     | 清水 郁佳  |
| 商学科       | 富野 雄太  |
| ビジネス情報学科  | 佐藤 友紀  |
| 経営学科      | 近藤 千貴  |
|           | 野崎 健太郎 |

## 【学長賞】

|         |        |
|---------|--------|
| 法律学科    | 杉山 純子  |
| 現代社会法学科 | 坂口 由希子 |
| 総合政策学科  | 藤森 有佑子 |
| 医療薬学科   | 武川 唯   |
| 歯学部     | 吉岡 登史彰 |

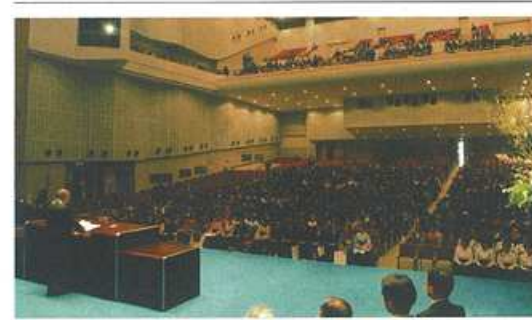
|           |        |
|-----------|--------|
| 宗教文化学科    | 廣川 頌   |
| 歴史学科      | 上田 七緒  |
| 国際文化学科    | 西川 裕子  |
| 日本文化学科    | 加藤 聖恵  |
| グローバル英語学科 | 野崎 祐未  |
| 心理学       | 皆川 綾菜  |
| 健康科学科     | 小原 千明  |
| 健康栄養科     | 長濱 寛明  |
| 商学科       | 山内 綾佳  |
| 商学科       | 王 夢思   |
| ビジネス情報学科  | 川口 武明  |
| 経営学科      | 小池 みな美 |
| 現代企業学科    | 原 有紀   |
| 法律学科      | 黒田 梨沙  |
| 法律学科      | 多田 温彦  |
| 現代社会法学科   | 丹阪 亮人  |
| 総合政策学科    | 松本 恵理  |
| 総合政策学科    | 石川 なぎさ |
| 医療薬学科     | 市村 幹夫  |
| 歯学部       | 山岡 貴花  |
| 留學生別科     | 高橋 美文  |
| 歯学部衛生学科   | 李 昌鎬   |
| 専攻科       | 堀 友貴歩  |
|           | 尾上 文菜  |

## 【歯学部臨床実習優秀賞】

|       |        |
|-------|--------|
| 関澤 美穂 | 速水 彩乃  |
| 平井 真哉 | 柴田 康裕  |
| 森 智紗子 |        |
| 谷島 茜  |        |
|       | 石丸 恵里奈 |

## 【歯学部衛生学臨床実習優秀賞】

|  |        |
|--|--------|
|  | 石丸 恵里奈 |
|--|--------|



平成23年度  
祝 辞「社会の変化に的確に  
対応する努力を」

学院長 小出 忠孝

平成23年度愛知学院大学卒業生諸君、卒業おめでとう。本学を代表して心よりお祝い申し上げます。諸君の胸の中には四年間の雪の功成り、学位記を手にする事が出来た喜びと共に、これから始まる新しい人生に対する希望に満ち溢れていると思います。

## 「学院大卒の誇り」

新しい人生の門出にあたり、諸君に先ず愛知学院大卒業の誇りを持って頂きたい。諸君が学んだ愛知学院は創立135周年を迎える、中部で最も古い歴史と伝統を持つ学園です。大学は現在8学部17学科、大学院9研究科に学生1万3

千名を擁する大規模な私立の総合大学であり、さらに常に時代のニーズに積極的に対応して学部、学科、大学院増を行い、中部の主要大学になっています。諸君はこの様な名門愛知学院大学で多くの優秀な先生に恵まれ学業を修め、多くの先輩・後輩に囲まれ人間形成に努めることも出来ました。さらに諸君には社会の各界でめざましい活躍を遂げている11万余の先輩もいますが、すべて本学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」の教育理念のもとで誇り高く育った学院大卒業生です。本学の建学の精神は開祖道元禪師

の教えであり、人間として正しく生きていく上で最も大切な基本的精神です。諸君は一生この建学の精神を座右の銘として堅持し、社会で活躍される事を希望します。

## 「景気は踊り場入り」

諸君が明日から門出する社会は現在厳しい状況にありま

す。国際社会では、アラブの春と呼ばれる北アフリカ・中東地域における政変、欧州債務問題の深刻化、主要国の国債の格下げ等が発生し、またわが国でも東日本大震災、福島原発事故、台風による各地の豪雨被害、欧州の財政危機に伴う急激な円高等が発生し社会、経済に深刻な影響を与えています。その結果、内閣府の発表による10・11月期の国内総生産(GDP)は半年ぶりのマイナス成長となり、実質成長率は年率1・6%減となつています。一方日銀は経済の見通しを示す「経済・物価情勢の展望」で現状の景気判断を「横ばい圏内とし、景気回復が踊り場にどまっている」の認識を示し、回復時期は遅れるが今後緩やかな回復に向かうとしています。

## 「第二就職氷河期」

東日本大震災や急激な円高など厳しい経済環境のなか、今春卒業の大学生の就職内定率は、厚労省、文科省の調査によると71・9%で前年比3・1ポイント増え、やや改善したものの就職氷河期と呼ばれた

た1996年以降二番目の低水準で、第二就職氷河期といわれています。地域別では中部地区は関東・近畿地区に比べ低く、当地区の卒業生の就職にとつて大変痛手の状況となつています。この様な厳しい就職環境のなか、さらに就職試験に於ける企業側の厳選採用傾向、学生の希望と求人とのミスマッチ等が加わり就職は難化傾向となつています。本学でも就職支援体制を強化してありますが、就職を取巻く環境は容易に改善はみられず、厳しい状況が続いています。

一方先日厚労省の発表によると景気の先行きを示すといわれる新規求人倍率は1・13倍と2ヶ月連続で改善され、雇用情勢はなお厳しいものの求人を持ち直しの動きがみられる事は今後に対する明るい材料と考えます。

日銀名古屋支店は、先日東海3県の2月の金融経済動向を発表し、景気の総括判断を「緩やかに持ち直している」と、5ヶ月ぶりに上方修正をしており、さらに今後については「当面は緩やかな持ち直しが期待できる」との見方を示しています。この様な景気回復が期待されるなか、卒業生諸君には明るい希望をもつて社会で活躍して頂きたい。

## 「常に努力を精進を」

わが国は1945年に敗戦という有史以来の危機に陥りました。しかし昭和の先人は敗戦の廃墟の中から立ち上がり、涙ぐましい努力により経済復興を成しとげました。さらにその後の石油ショック、近年のバブル崩壊等、度重なる危機に對しても、その都度全力をあげてそれを乗り越え、驚異的な成功を収め今日の経済大国を創り上げてきました。しかし昨年来の世界的不況はかつて経験した事のない経済危

機であり、さらに幾多の困難も乗り越えなければなりません。しかし、わが国は世界に誇る高い技術力、勤勉な国民性、さらに豊かな個人金融資産などの強みを持つており、この日本人の力を活用し活力ある日本を再び創りあげねばなりません。それを実行し出すのは21世紀を背負って立つ若い諸君です。特に将来、社会の中堅リーダーとして活躍する大学卒業の諸君です。

かつてゲーティンガーは「種の起源」において「賢いものや強いものだけが生き残るのではない。変化にどう対応したらいかがかを考えるのが生き残る道である」と述べています。生き残り競争で賢いこと、強いことは大切なことでありますが、その中で生き残るのではなく、もっと重要な事は環境の変化に對してどの様に適応するかが重要です。現在の様に激しい時代では、その変化に的確かつ速やかに対応する努力の必要性を教えています。幸いに諸君は本学に於いて、それに対応できる力を学び、身につけていることと信じています。さらにそれを実行できる若さをもっています。その自覚と自信を持ち社会の変化に的確に対応し常に努力精進される事を期待するものです。しかし将来は安易な道ばかりではなく、厳しいものがあると覚悟しなければなりません。人生80年代の長い人生で順調な時も決して奢ることなく、また逆に不遇の時にも決して挫ける事なく、常に全力をあげて進まれる事を切望します。最後に之からの高度の高齢化時代を迎えて健康にくれぐれも留意され、世のため人のために活躍される事を期待致します。

## 祝 辞

愛知学院大学後援会会長  
島田雄仁

卒業生諸君、ご卒業おめでとうございます。ご家族の皆様、心よりお慶び申し上げます。また、在学生中には愛知学院大学後援会の活動に對しまして全面的なご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

そして、小出学院長、大野学長をはじめ、全ての教職員の皆様には、本日までのご教育に對する情熱と不断の努力に對し深甚なる敬意を表する者でございます。保護者を代表して深く感謝

学生部同窓会会長  
井上峰雄

## 卒業を祝して

ご卒業おめでとうございませう。愛知学院大学各学部同窓会を代表して心からお慶び申し上げます。ご父兄ならびにご指導をいただきました先生方の感慨もひとしおなるものと存じます。

母校も現在8学部17学科の中部地区でも有数の総合大学となり、間近では、名城公園東に都心新キャンパスの開設

申し上げます。

さて、卒業生諸君は明日より人生の第二幕の舞台に進みます。

第一幕である小学校から愛知学院大学までの学業の舞台では、それを得意とした諸君もまたそうではなかった諸君も、舞台は変わります。

第二幕の舞台の基軸は何でしょうか、それは収入を得て自身の家庭を築き、ご両親の様に親の務めを果たすという事ではないでしょうか。

では、経済基盤はどう確立するのでしょうか。それは、どれだけの人の役に立てるかということことです。社会の役に立つ！とは広汎な表現で諸君の心に入り込めません。

では「役立たず」には絶対にならない生きざます。

思い返せば、合コンの時、愛学祭の時、試験の直前、必ず「役立たず」がいました。

諸君がこれから第二幕を歩予定など、ますます隆盛をきわめております。愛知学院の卒業生が、社会に好感を持って受け入れられるのは、学問就業ばかりでなく、幅広い人間形成、社会人として役立つ人材育成にあると思います。本学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」をよく理解して社会に巣立っていただきたいと思ひます。

東日本大震災により被災された多くの方に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い完全復興を願つてやみません。もう一度絆を見直し、人間としての在り方をみつめる大事な時と考えます。

我が国は、依然として厳しい経済状況にあります。それでも文明・科学が進化し発達していく中で、今こそ、人と

む時「役立たず」をチームに誘いますか。

諸君は第二幕で絶対に「役立たず」にはなれないのです。愛知学院で学んだ知識融合による知性、体験分析で納得した真実、生まれながらの行動力、学友と育てた友情、部活から得た逃げない精神力、両親に抱いた報恩感謝。

君自身の得意技能で、君自身の全知全能を出し切つて、第二幕を猛進しましょう。

100人の人から かけがえの無い人と 慕われ  
1000人の人から 素晴らしい人と 共に歩き  
10000人の人を幸せにする。

この人生こそ諸君の望む人生だと信じます。

猛進する君に  
卒業のお祝いを申し上げます

皆さんは卒業と同時に各学部の同窓会正会員となられます。同窓会も時代に対応しながら発展していきます。同窓会と大学は車の両輪です。若い皆さんの力で同窓会を支え、母校の名を一層高めていただければと願っています。

## 卒業生へ贈る言葉(平成23年度)

## 倫理ある社会人へ!

経営学部長  
向 伊知郎

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。  
昨年3月11日に東日本大震災が起こり、皆さんのご家族、ご親戚、知り合いの中にも被災された方がいらっしゃるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。1000年に一度の震災によって、今なお、多くの方々

が苦勞されていらっしゃると思います。その中で、被災地の方々の「倫理」ある行動は世界的に注目を集めてきました。その一方で、昨年も、多くの企業不正が生じました。記憶に新しいところでは、オリパス(株)の不正流用と大王製紙(株)の資金の不正流用があります。これらは、問題の本質は異なるようですが、ともに比較的に豊かな生活をしている企業経営者が起こしたお金に関わる不祥事であり、企業経営者の倫理なき「エゴイズム」が生じさせた事件です。

皆さんは、経営学部で、企業経営全般について学んできました。企業経営には、人、モノ、お金、情報といった経営資源を欠くことができません。特に、お金がなければ企業は倒産してしまいますので、お金はとても重要な経営資源です。しかし、お金だけがあれば企業が発展するわけではありませんが、人々が幸せになるわけでもありません。皆さんのこれからの人生の中では、いくつもの難しい決断が迫られるときがあります。そのようなときに、人間として何が最も正しい行動かという、「エゴイズム」に打ち勝つ「倫理」ある行動を忘れないでください。

## 自分の力を信じて

商学部長  
脇田 弘久

平成23年度卒業の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。皆さんは、ビジネスに必要な専門知識や能力を修得し、人間としての価値(ビジネス・ヒューマン・バリュー)を創造的に高めることをめざす商学部の教育理念に沿って大学

生活を送られ、このたび、めでたくその教育課程を修了し、学士商学の学位を授与されました。これから皆さんが進む実社会は周知のとおり多様化、流動化の傾向を強めています。そのような環境のなか、これから数々の岐路に立ち、決断を求められることがあるでしょう。そうしたときに先の理念のもと過ごした大学生活を思い起こしてください。これまでの大学生活で得た知識と物の見方、考え方は大きな力になるはずです。そして卒業後もそうした学部での学びを礎にして、さらに自ら学習し、

新しい知識を構築しつづけてくれるならば、どんな状況下でも、自分で意思決定ができ、人生の進むべき方向づけができる人となるでしょう。今、実社会に飛び立つにあたって一抹の不安を抱いているかもしれませんが、その社会では4万人を超える商学部を卒業した諸先輩が、経済界をはじめ、教育、公務、文化、その他さまざまな分野で活躍し、その実力を発揮しています。どうかあなたも自分の力を信じて社会で活躍してください。

皆さんのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 前を訪ね、後を導く

文学部長  
安藤 充

おめでとうございます。卒業とは学業を修め終えることでしたが、これで勉強から解放されるといふ思いもあるでしょうし、ああ、学生のうちにちょっと勉強しておけばよかったという後悔の念をお持ちの方も多いことでしょう。きょうのその気持ちを大切に

して、またいつでも学び直しが続けて下さい。一方、卒業とは、人生の次のステップへの始まりです。卒業によって学生という肩書き(甘え・言い訳)をなくしフルタイムの社会人となれるわけですね。期待も不安もいっぱいであるはずです。その心持ちこそが新人の良さです。新しい環境で、何も知らず何もできず、辛いことでしょうか。そんな中で皆さんが唯一できることは、先輩に聴くこと、そしてそれを身につけていくことです。また、ずっと教えてもらえるような関係を築くことです。

大学で学んだことをすぐにも活かしたいところでしょうが、プロの世界は甘くありません。世界的企業の研究所に勤める知人でも「仕事の8割は雑用」。つまり、雑用がこなせなければ、本当にやりたいことには到底たどり着けません。将来の自分のためにこそ、眼の前の一つ一つの仕事を大切にしましょう。そして、上に立つ身になったときは、自らの言葉で、自らの態度で、そして自らの輝きで、後輩たちをしっかりと導いていって下さい。そのとき皆さんの成長ぶりを、今から楽しみにしています。

## 世界に向けた新たなスタートを

心身科学部長  
大澤 俊彦

平成23年度の卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。「心身科学部」では、「心理学」「健康科学科」に続いて最後に設立された「健康栄養学科」でも、第1期の卒業生として皆さんを送り出すことができます。「心身科学部」が

実質的に完成した記念すべき年となりました。皆さんは、人間のこころからだにに関して基礎から専門にいたる広範な内容を総合的に学ばれたことを社会で生かすために、大学院への進学や一般企業、医療機関や行政、教員などへの就職を通して、さまざまな形で社会への貢献を胸に秘めての新たなスタート、期待感に満ちた気持ちで送り出したと思います。「心身科学部」は、文系の学部が中心の日進キャンパスでは、理系の色彩の強い「心身科学部」は異色の存在であり、また、全国唯一で、国際的にも他に例を見

ないユニークな学部です。高齢社会を迎えた今、「健康長寿」は、国内のみならず国際的にも求められています。卒業生の皆さんには、ぜひ、世界を意識して一層の研鑽を積んでください。昨年の春に起きた未曾有の大惨事「東日本大震災」以後、社会情勢も先行き不透明で中絶に陥りつつある皆さんの環境は、決して明るいとはいえない。しかし、「冬きたりなば、春遠からじ」という言葉にあるように、暗い冬をじっと耐えた人にはより明るい春がくるものです。皆さんの活躍を期待しています。

## 学び、考え、試み続けよう

総合政策学部長  
續 伯彦

総合政策学部平成23年度卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんが最終学年を過ごした平成23年は、日本にも世界にも大きな変動が生じた年でした。なにより東日本大震災による津波被害と福島原発事故は重大事となりました。海水に洗い流された東北の暮らしの復元、復興の課題、おそらく世紀を超える

永い放射能汚染との闘いを抱えたこの国に、皆さんは新たな社会人として果立って行きます。社会や政治が皆さんに提供できるものが決して十分とは言えない厳しい現状です。けれども、総合政策学部での学びは、そうした避けがたい課題を幅広く捉え、自らの立ち位置から一歩ずつでも解決の糸口を探るための力を養うものであったことを、改めて思い出しもらいたいと思います。

大震災の支援に学内でいち早く立ちあがったのは、皆さんの仲間でした。学年の七人に一人程が手を挙げてくれました。人間として真つ当に社会と向き合おうと、共に歩む仲間として喜び合えることを祈って、今日の門出への手向けの挨拶とします。

## 新しい時代の担い手に

法学部長  
服部 朗

ご卒業おめでとうございます。法学部教職員一同、心からお祝いを申し上げます。皆さんの在学中には、東日本大震災、福島原発事故、世界金融危機、世界同時不況など未曾有の出来事がありました。まだ不透明な時代は続い

ています。卒業生の皆さんは、この荒海の中に漕ぎ出されることになりました。しかし、皆さんは、本学法学部で体系的知識を踏まえた法的判断能力を、また、現代社会が抱える法的諸問題を発見し、これを合理的に解決できる能力を培われてこられました。こうした力を身に付けられた皆さんは、時代に翻弄された対象ではなく、時代の先を照らし、新しい時代を創造する主体になってほしいのです。

法的判断能力や問題解決能力は内に向いた力ではなく、社会や人々とのつながりのなかで意味をもつ力であると私は思います。不幸な形ではありましたが、東日本大震災が投げかけた問いも、この点にあるように思います。どうか思う存分、皆さんの実力を発揮し、新しい時代にふさわしい価値観と社会の仕組みを創造していきってください。ただ、時には休養も必要でしょう。そんなときは、この緑豊かな日進キャンパスを訪ねてください。法学部同窓会も皆さんを待っています。皆さんとまた歓談できる日を楽しみにしています。皆さんの活躍を心から祈ります。

## 卒業生へ贈る言葉(平成23年度)

## 歯科衛生学科四回生の皆さん、卒業おめでとう

歯科衛生学科4回生の皆さん、ご卒業を心からお祝い申し上げます。歯科衛生士になることを目標として入学した皆さんの三年間を振り返ってみると、早く感じた人、あるいは長く感じた人を問わず、いろいろな思い出がうかんでくることと思います。一年生、二年生で学んだ口腔保健衛生、歯科医療に関する基本的な内容を基礎として、最終学年での臨床(臨地)実習では大学で学んだ内容のみならず、大

歯科衛生学科長  
向井正視

学とは全く異なった環境での様々な出来事に直面し、文字通りのインターシッブを乗り越えて、ここに卒業を迎えられたことに、あらためて敬意と祝意を表したいと思います。

歯科衛生士は一人ひとりの患者さんを対象とするだけではなく、職場や学校等の集団においてもその役割を果たすことができます。このようななか、昨年8月に歯科口腔保健の推進に関する法律が成立し施行されました。口腔の健康が、国民が健康で質の高い生活を営む上での基礎となることを示し、生涯にわたる予防への取り組みと歯科口腔保健の総合的な推進が期待されます。これまでに、各ライフステージにおける取り組みであった歯科口腔保健の施策を、生涯を通じた基本的事項と

して策定し、実行されることが期待されます。皆さんにはこの取り組みを推進する一翼となつてもらいたいと思います。

各種の研究により、口腔機能の維持向上が健康寿命の延伸に寄与することが明らかになっていきました。卒業後も大学で身につけた専門分野の知識や技能をさらに向上させ、幅広い分野に興味をもち、感性を磨き、より豊かな人間性をもった素晴らしい女性となるよう努力して下さい。

皆さんはきっとそれに応えることができます。そして誰からも愛され、頼られる歯科衛生士をめざして下さい。卒業生の皆さん、あなた方の未来が素晴らしいものであることを心より願っています。

## 歴史の始まり

平成23年度卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。薬学部教員一同、心からお祝い申し上げます。

薬学部長  
榎 彰

皆さんは、平成18年度から開始された6年制薬学教育課程を終えた最初の卒業生です。新教育課程の最大の特徴は、これまでになかった参加型長期学外実務実習です。この実習を修了していることの意味

は、ただ単に病院や薬局業務を習得したことに留まらず、他の医療従事者や世の中の人々から大きな期待を受けているということとです。高度な専門知識と技能を備え、医療人としての使命感や倫理観を持った「即戦力」の薬剤師を世の中は待っています。

卒業生の大部分は、薬剤師免許を必要とする医療関連の職場で働くこととなります。その社会的役割と責任は非常に重いです。一方では、やり甲斐のある仕事となるはず

です。また、皆さん一人ひとりの活躍が、薬学教育改革の成功という社会的評価をもたらし、新しい薬学の「歴史」を創ることとなります。愛知学院大学での勉学や学生生活における経験は、決して皆さんを裏切ることとはなく、きつと自信となつて支え励ましてくれるはずと。助けが必要

## 頑張ってください

本学歯学部46回生としてこの度めでたく卒業の春を迎えられた皆さん、歯学部教員を代表して心からお祝い申し上げます。

歯学部長  
田中貴信

6年間という長い学生生活と歯科医師国家試験という関門を乗り越えて、多少はつと

正直申し上げ、歯科医師と言いう専門家として、皆さん方は未だ「数」にも足りない「質」であり、これからは先ず必須とされている歯科医師臨床研修医のコースを修めなければ、自分自身で臨床現場に立つことはできません。その後、大学院進学も含め、長く多様な修練の道が続いており、幸いにも母校は、私立歯科大学の中でも全国随一と言われる附属病院を擁し、多くの患者と経験豊かな教職員が諸君を待っております。これから恵まれた環境での存分な研修が期待できます。最近、「頑張らなくてもよ

い」という言葉が流行っていますが、とんでもありません。特に、これまで豊かな家庭で甘やかされて育ち、かつ、あの「ゆとり教育」の犠牲者でもある諸君が、将来誰からも認められる専門家になるためには、明日から「死ぬ覚悟で頑張らなければ」、如何なる夢も実を結ぶことは無いでしょう。何事につけても、決して他人の所為にする

ことなく、常に自分自身でがっちり受け止めながら、我が身を磨き上げてゆく他は無いというのであります。諸君の大きな活躍を心から期待しております。

愛知県の社長分析調査  
出身校トップに  
愛知学院大学

帝国データバンク名古屋支店が、平成23年12月末時点における帝国データバンクの企業概要ファイルから抽出した愛知県内に本社を置く企業の社長(個人経営を含む)6万7965人を対象に、社長の出身大学・出身地別、年代別構成、平均年齢などのデータ分析を実施し、このたび分析結果を発表した。

それによると、社長の出身大学別ランキングは、愛知学院大学(1443人)となり、昨年1位だった2位の名城大学(1442人)を僅差で上回り1位となった。3位は愛

## 名誉教授称号授与

本学教授会は、平成24年3月31日付で退職される、木田光郎心身科学部客員教授、中垣晴男歯学部教授に、4月1日付で名誉教授の称号授与を決定した。

心身科学部客員教授  
木田光郎

昭和39年名古屋大学文学部哲学科(心理学専攻)卒業、41年同大学大学院文学研究科修士課程心理学専攻修了、43年同大学大学院文学研究科博士課程心理学専攻中退。昭和61年文学博士の学位取得。

昭和45年本学歯学部卒業。昭和54年歯学部博士取得。昭和45年本学歯学部口腔衛生学講座助手、49年歯学部附属病院口腔衛生科医局長、50年同講座講師、55年同講座助教授、63年同講座教授。平成12年から11年間歯学部教務主任、平成15年歯部科技専門学

歯学部教授  
中垣晴男

校校長代理。平成17年愛知学院大学短期大学部歯科衛生学

ニハル・パドゥマシリ氏は、昭和44年生。2007年来日し、政策研究大学院院入学、2009年修了後、本学大学院商学研究科商学専攻博士後期課程入学。

博士論文は「THE ROLES OF HUMAN CAPITAL AND SOCIAL CAPITAL IN THE DEVELOPMENT PROCESS OF INDUSTRIAL CLUSTERS: EVIDENCE FROM SRI LANKA」(産業集積の発展過程における人的資本と社会資本の役割：スリランカによる実証)で、発展途上国の経済発展過程において産業集積が果たす意義と重要性について研究したものである。特に経済成長過程において成長発展の要因として社会資本と人的資本に着目し、産業集積とそれらの要因の関係をスリランカのデータに基づき実証している。

国際的な経済専門誌に掲載された論文2本を中心に構成



博士(商学)  
ニハル・パドゥマシリ  
H.M.NIHAL PADMASIRI 氏

■ 本学より  
ニハル・パドゥマシリ  
H.M.NIHAL PADMASIRI 氏  
ティ・イジュ  
丁 偉儒氏  
の2氏に博士号授与 ■



博士(経営学)  
ティ・イジュ  
丁 偉儒氏

された当該論文は、経済学に貢献する成果をこれからも生み出せ、研究者としてまた高等学術の教育者として後進を指導できることを明示している。

丁偉儒氏は昭和39年生。2007年本学大学院経営学研究科経営学専攻博士前期課程修了、2010年本学大学院経営学研究科経営学専攻博士後期課程満期退学。2010年より本学経営学研究科経営学専攻研究員。

博士論文は「日中間のITグローバル分業経営に関する研究——差異認知によるプロセス共有——概念を踏まえて——」で、経済グローバル化にともない進展してきたIT分野におけるグローバル分業に主として日中間のITグローバル分業にかかわる企業経営に焦点を当て、「差異認知によるプロセス共有」という新しい概念を提唱している。この新しい概念をもとにITグローバル分業経営に関するビジネスモデルの創出を目的としている。

経済グローバル化にともない、ITグローバル分業の進展を背景に、21世紀において日本と中国の間で急拡大しているソフトウェアの受発注を中心に、日中間のITグローバル分業にかかわる企業経営に焦点を当て、日中間のソフトウェア開発から出発し、その歴史的経緯を踏まえて、ITグローバル分業経営の最新動向を考察している。

## 就職体験記

### 就職活動について

就職活動を振り返ってみると、忙しかったと思います。自分の自由な時間は減りますし、学業、アルバイトと並行しながら活動するのでスケジュール管理は大変でした。1日に面接が3件入ったり、説明会を予約したりなど忙しい日々が続いてました。活動を始める前は就職難と言われ焦りもありましたし、今まで学生だった自分が社会に出て働くというイメージを持つことができなかったということもあります。いざ、自分が就職活動を始めてみると何をしたら良いかわからないことだらけでした。「エントリーって？エントリーシート(ES)と履歴書って何が違うの？」と言うように疑問だらけでした。それにESや履歴書に何を書いたらいいかわからない、自分を表現できないなど最初から壁にぶつかってました。自分を知る、それを相手に伝えることが就職活動の第一歩だと今の私は思います。自分が自分の事を知らなければ、相手に伝えることなんてできる訳がありませんし、自分がその仕事に合っているのかも判断ができないと思います。就職活動をしてきて、辛いと思ったのは面接にも進めないことがあるからです。会ってもいいのに頭の良さ、適性、表現だけで判断をされてしまうということが沢山ありまして、面接に進んだとしても緊張して上手く伝えられないなど思ったようにいかないのが辛く感じました。就職活動を続けていくうちに少しずつ慣れていき、私は話を聞くことも好きだが、自分のことを話すことも同じくらい好きだということに気がしました。気付いたら、自分はこんな人間ですと強く主張ができるようになってました。

就職活動は自分を知る良い機会です。こんなに自分について考え、表現する機会は滅多にないです。自分の良いところ、悪くところを見つけそれを今後生かすこともできますし、改善することもできます。

就職活動を行い、正直楽しかったとは言えません。むしろ忙しく、辛かったと言えます。しかし、自分を知れる良い機会でした。



商学部  
山内綾佳

### 就職活動はメリハリ

私は、製薬メーカーに内定をいただきました。もちろん、文学部なので専門の知識を持っているわけではありません。

文学部の就職活動は、とても幅広いです。自分の専攻を生かす業種に就かれる方よりも、関係ない業種に就かれる方のほうが多いかもしれません。だからこそ、どういう会社に行きたいかが明確にできず、迷われる方も多いのです。

私も、その一人でした。一昨年の9月頃、採用活動の開始が10月からということで、無駄に焦ってはいるものの行動に移せません。SPIの勉強はしていましたが、肝心の働きたい会社が…わからない。不安だけが募っていきました。

それでも行動には移さないと決めた私は、まず全ての業界・業種を調べることにしました。事業内容から福利厚生まで、大まかにですが調べることで、自分のやりたいことが見つければ良いと考えたからです。その結果、人の命に関わることができるというやりがい、そして比較的安定するであろう先行きを持つ製薬業界に興味を持ちました。

その後は文系の自分でもできる製薬メーカーの営業(MR)に目標を定め、製薬メーカー以外受けないと決め、10月を迎えました。会社数も多いため、業界研究も交えながら80社ほどエントリー、その中でも絞って25社ほどの説明会に参加しました。そのうちに、この業界はどういう人材を求めているか、何を期待しているかが明確になったため、面接はそれに沿うように受け答えをしていきました。その結果、15社ほど受けた段階で内定をいただくことができました。

就職活動はメリハリです。私は、業種を絞って受けることを強くお勧めします。同じ業界の会社説明会を受けることで、業界内でのその会社の立ち位置もわかってきますし、理解も深まっていくので面接も受けやすくなっていくと思います。

何をするか迷ったら、まず業種を絞りましょう。頑張ってください。



文学部  
小林勇将

### 就活を楽しむ

就職活動を始める前に、自分がどうゆう人間なのかを改めて考え直す事を最初にやりました。改めて考え直す事で、今まで自分でも分からなかった長所や短所が出てくると思います。そこで初めて自分に合っている企業、仕事が絞られて出てくると思います。僕の場合は「人と話すのが好き」「服が好き」この2つを軸にして、就職活動を始めました。ようするに、営業が行えてアパレルの仕事に携われる企業に絞られました。

そして次に僕が始めた事は他の就活生と少しでもリード出来るように、アパレルで使えるような資格の勉強をし、2個取得しました。

当たり前かも知れませんが就職活動するにおいて大切だと思った事は説明会に行く事です。説明会行かない事には、この会社は何を強みにしているのか、他社との差別化をどのように図っているか、など大切な事が全く分かりません。ですので、説明会の為に名古屋・大阪を常に行き来してました。

面接では常に「笑顔」常に「大きな声」で応えていました。そして面接は「自分はこの会社に入りたい！」という気持ちを人事の方に直接伝える事の出来る最大のチャンスでもあるので、どんどん伝えていきました。

僕は説明会や面接会場が一緒になる方と話をし、友達になる事が多くありましたので、就職活動は楽しい時期でもありました。なので、ただ就職活動するのではなく、なにか楽しめる方法を考えるのもいいかもしれません。

私は第一志望だった会社有缘があり内定を頂きました。

しかし内定をもらう事がゴールではなく、入社してからがスタートだと思っているので、入社してから上を目指して頑張っていきたいと思っています！



法学部  
木股浩貴

### 就職活動は挑戦との戦い

私は、食品業界に内定をいただきました。

他の学部とは違い、インターンシップに参加するのではなく栄養士としての臨地実習によって仕事の現場を学ぶことができました。

2月に入ってから本格的に就職活動を始めました。この時期は、説明会参加・エントリーシートの作成を平行して毎日行っていました。説明会に参加するにも人数制限があり、毎日携帯電話、iPadが手放せない日々でした。HPなどで興味を持った会社の説明会には参加するように努力し、様々な会社の特徴をまとめて自分のやってみたい事とマッチングするかを考えていました。3月以降は、面接や大学の講義も加わり1日の時間の使い方を考えながら生活していました。しかし、誰もが予想しなかった東日本大震災の影響もあり面接の延期・中止が相次ぎました。これから先どうなっていくのが不安が大きくなりましたが、大学の講義・企業研究など今の自分にできる事を全力で取り組むようにしました。そこでの時間が私をひとまわり成長させてくれて、面接では自信を持って一つひとつの言葉を届けることができました。5月には最終面接に進むことができた会社が3社あり、「これで就職活動も無事終了だな」と甘く考えていました。全力で臨みましたが、3社とも不採用という形になってしまいました。すごく落ち込んでいるときに、学校推薦で大手食品業界の営業職の求人が来ていました。こんな大きな会社は難しいだろうと思っていたので、受ける気は全くありませんでした。しかし時間とともに考え方も変わり、「今までの就職活動で挑戦してきたのに、このまま終わったら絶対に後悔する」と自分の気持ちも高まり挑戦する気持ちになりました。今までの集大成として力を発揮するために履歴書・HPでの企業研究・自分が会社で挑戦したいことなどを1ヶ月毎日考え続けました。最終面接の次の日、内々定の電話を頂いたときに、力が全て抜けてとても楽な気持ちになりました。

就職活動は大学受験などとは違い、勉強だけできる人は駄目。しかし自分の考えを持って突き進める人には多くのチャンスが潜んでいます。就職活動のチャンスは自分でしか掴むことができません。皆さんがひとつでも多くのチャンスと出会い、想い叶うことを願っています。



心身科学部  
七原 翼

## 就職体験記

## 就職活動を振り返って

私が就職活動を通じて学んだことは、自分の未来を創り出していくことは自分の意志と行動によって決まってくるということです。

私は大学の学生生活の中で、中国と韓国へ行きました。都市部の発展ぶりや彼らの情報収集力の高さに驚きました。グローバル化が進んでいく中で、アジアを中心にビジネスがしたいと強く感じました。私の就職活動の軸はここに設定しました。

10月から1月にかけて多くの企業の説明会やパンフレットを参考に企業研究をしました。2月以降に選考が始まりましたが、自分の働き方や軸と合っているかを確認し、企業を絞り、無駄のない就職活動に努めました。

就職活動で挫折を感じることは多かったです。一生懸命取り組んだ分、悔しさもありました。しかし、その会社に入れば、自分の幸せが掴めるとは限らない。次の会社のほうが自分には合っている気持ちを切り替えました。また、自分よりスキルが高い学生にもたくさん出会いました。そんな時は自分に足りないものは何かを考え、すぐに行動しました。これから補えばいいと感じたからです。

また、就職活動中は度々外からも内からもストレスがたまります。私はアルバイトと語学学習で発散させました。大切な事はメリハリをつけることです。

現在、就職活動を終えて感じることは凹む必要は全くありません。ということです。自分の真摯な姿を伝えて、採用されないということは最初から縁がなかったということです。一番大切な事は負けてたまるかという気迫であり、自分の夢を叶えるためには何が必要か考え行動することです。私は就職活動中はずっと目標を持ち、否定されようと賛同されなくても地道にやり続けました。嫌な思いをしてもやりぬくことが必要です。志が高ければ高いほど、困難はつきませんが、継続するしかありません。就職活動をしていくと、これから必要な事が見えてきます。

与えられたチャンスを確実に生かし、絶対に諦めないことです。

気合と気迫をもって挑んでください。



経営学部  
藤川純次

## 就職活動体験談

私が就職活動を終えてまず思ったことが、「もっと早い時期から就職活動をやればよかった。」ということです。

就職活動に本腰を入れ始めたのが3年生の12月中旬。当時、就職活動は3年生の10月から始まると言われていたもので、他の就活生に比べると、すでに2カ月も遅れをとっていることになります。

就職活動はいかに「素早く」行こうか大切だと感じました。

就職活動の開始が遅くなればなるほど、自分の志望している企業の選考がどんどん終わっていきます。それは自分の将来の選択肢が狭まって行くのと同じです。

早い時期から就職活動を始めれば様々な業種から自分にあった仕事、業界を選べるのです。

私は12月中旬から2月にかけての2ヶ月弱、様々なIT系の企業を受けました。

選考を重ねていくうちに、自分の中で何か違和感を感じ、自分は本当にIT業界でいいのか、本当にやりたい仕事はこれなのか。

悩んだ末、繊維・アパレル業界が自分のやりたいことだと気付きました。

しかし、気付いた時はもう3月で自分の行きたい企業の選考は始まっており、選考に参加したくても参加できないことがあり、本当に悔しい思いをしました。

このときにあと2カ月早く就職活動を始めていたとしたら、この悩みに2カ月はやく気づいて、3年生の12月中旬から繊維・アパレル業界の選考に参加していたことでしょう。

こういった就職体験談を書かせて頂く際に成功談よりも失敗談を書いて、少しでも自分の失敗をたくさんの就活生に知ってもらい、そしてこれからの就職活動に活かしてほしいと思いました。

私と同じ失敗がこの体験談によって少しでも減ることを祈っています。

グッドラック！



総合政策学部  
岩崎徳幸

## 平成23年度薬学部 就職内定状況 (平成24年2月23日 現在)

### 主な内定先

#### 【製薬企業】

あすか製薬株式会社  
科研製薬株式会社  
杏林製薬株式会社  
興和株式会社  
大正富山医薬品株式会社  
大洋薬品工業株式会社  
武田薬品工業株式会社  
田辺三菱製薬株式会社  
株式会社ツムラ  
バイエル薬品株式会社  
Meiji Seika ファルマ株式会社

#### 【保険調剤薬局】

株式会社アイセイ薬局  
アイングループ  
株式会社ウィーズ  
株式会社ウォルナット  
株式会社うさぎ調剤薬局  
株式会社エイチアンドケー  
協和ケミカル株式会社  
クオール株式会社  
クラフト株式会社  
有限会社光陽  
総合メディカル株式会社  
たんぽぽ薬局株式会社  
株式会社はいやく  
株式会社ファインメディカル  
株式会社メディカル一光  
有限会社ヒノマル薬局  
株式会社名北調剤  
有限会社ヤクシン  
株式会社ヤナセ東海調剤薬局

#### 【ドラッグストア】

株式会社アマノ  
イオンリテール株式会社  
株式会社クスリのアオキ  
株式会社サンドラッグ  
株式会社ジップドラッグ  
株式会社スギヤマ薬品  
中部薬品株式会社  
株式会社ユカファーマシー  
株式会社ユニー

#### 【病院】

愛知学院大学薬学部附属病院

愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院

社会医療法人 杏樹会

医療法人 愛生会

医療法人 梁山会 飯田病院

医療法人社団 主体会 小山田記念温泉病院

医療法人 生生会 松蔭病院

医療法人創起会 NTT西日本九州病院

医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院

医療法人 名南会

岐阜県厚生農業協同組合連合会

岐阜県総合医療センター

岐阜県立多治見病院

岐阜大学医学部付属病院

公立陶生病院

国家公務員共済組合連合会 東海病院

静岡県厚生農業協同組合連合会 遠州病院

市立伊勢総合病院

社会医療法人 明陽会 成田記念病院

社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院

社会福祉法人 聖隷福祉事業団

社会福祉法人 和光会 山田病院

社団法人日本海員救済会 名古屋救済会病院

信州大学医学部付属病院

地方独立行政法人 国立病院機構

地方独立行政法人 静岡県立病院機構

津島市民病院

徳洲会グループ

豊川市民病院

名古屋第一赤十字病院

西知多医療厚生組合 東海市民病院

福井赤十字病院

藤田保健衛生大学病院

碧南市民病院

みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院

山田赤十字病院

#### 【官公庁】

愛知県

岡崎市

岐阜市

名古屋市

#### 【卸売】

アルフレッサ株式会社

株式会社スズケン

## 就職活動を振り返って

最初は何になりたいかすら決まっておらず、薬学部の一般的な就職先すべてが視野に入っていました。5年生の夏くらいに少しMRについて考えるようになり、薬局、病院と実務実習を経るうちに方向性は製薬企業に決まりました。しかし、製薬企業について調べ出すと、品質管理の職種にも魅力を感じるようになり、かなり悩みました。結局、MRと品質管理を並行して就職活動していたのですが、周りからのアドバイスとたくさんの人と出会えるMRの方が自分に向いていると思い、最終的に私の心は「絶対MR!!」になっていました。Meiji Seikaファルマに決めた理由は、企業研究を通して女性が働きやすい職場であるということを知ったこと、社風が肌に合っていると感じたこと、そして楽しそうに働く愛知学院出身の先輩の存在でした。

また、就職活動と実務実習の時期が重なっており、採用選考等で実習を休まなければならない時もありました。そのような時は、病院の先生方と実習の担当の先生に迷惑をかけることになるため、必ず事前に相談するようにしていました。なかなか時間が取れない中、就職活動と実務実習の両立は大変でしたが、私の実習先の先生方はとてもいい人たちがばかりで、「頑張ってるね」と応援の言葉を下さり大変励みになりました。

自分が何になりたいのかははっきりしている人は良いのですが、おそらく多くの人が何になろうか悩んでいるのではないのでしょうか？なぜそんな風に思うのかと言われると、私もその一人だったからです。薬学部は他の学部と比べると職種が絞られるかもしれませんが、就職先は意外と広いです。後輩の皆さんもたくさん悩み、いろいろ考え、自分はこれだ!!と思えるものを見つけてください。



薬学部  
伊藤裕美子

楠元キャンパスにて行われた4号館の改修工事がこの度完了し、1月6日(金)に竣工式が行われた。式では中野理事長、小出学長、大野学長、薬学部部長、田中歯学部部長らによるテープカットに続き、小出学長、大野学長、田中歯学部部長らによる建物内の内覧会が行われた。



## 平成23年度卒業生の主な業種別就職・内定先一覧(平成24年2月末 現在)

## 【国家公務員】

防衛省自衛隊

## 【地方公務員】

春日井市役所

尾張旭市役所

東海市役所

小牧市役所

西尾市役所

塩尻市役所

加賀市役所

小松市役所

島田市役所

御前崎市役所

彦根市役所

長久手市役所

安八町役場

北方町役場

愛知県教育委員会

岐阜県教育委員会

東京都教育委員会

広島県教育委員会

名古屋市教育局

堺市教育委員会

公立陶生病院

岡崎市民病院

警視庁

愛知県警察本部

三重県警察本部

長野県警察本部

岐阜県警察本部

大阪府警察本部

岡山県警察本部

静岡県警察本部

名古屋消防局

東京消防庁

## 【総合工事業】

東日本ハウス(株)

名工建設(株)

(株)熊谷組

大東建託(株)

セキスイハイム中部(株)

橋梁技建(株)

(株)驚見製材ひだまりほむ

大和ハウス工業(株)

## 【職別工事業(設備工事業を除く)】

(株)PGSホーム

## 【設備工事業】

サンエイ(株)

寿美工業(株)

(株)朝日機器エンジニアリング

ミナト設備工業(株)

(株)野田自動車工業所

## 【飲料・たばこ・飼料製造業】

(株)チェリオ中部

(株)伊藤園

## 【繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)】

(株)近藤紡績所

艶化学繊維(株)

## 【衣服・その他の繊維製品製造業】

サンラリーグループ

尾崎商事(株)

## 【木材・木製品製造業(家具を除く)】

大日本木材防腐(株)

## 【家具・装飾品製造業】

山田工業(株)

## 【ハルパ・紙・紙加工品製造業】

大日本パックス(株)

(株)クラウン・パッケージ

中央紙器工業(株)

マルウ接着(株)

## 【印刷・同関連業】

(株)小松総合印刷所

杉山メディアサポート(株)

(株)大鹿印刷所

## 【化学工業】

三甲(株)

あすか製薬(株)

## 【ゴム製品製造業】

ミクゴム(株)

## 【なめし革・同製品・毛皮製造業】

(株)シモジマ

## 【窯業・土石製品製造業】

エラストック(株)

日本耐酸礫工業(株)

## 【鉄鋼業】

中央可鍛工業(株)

## 【非鉄金属製造業】

服部ダイカスト工業(株)

## 【金属製品製造業】

(株)岡谷特殊鋼センター

ミヤマ工業(株)

理研軽金属工業(株)

(株)杉浦製作所

宏和工業(株)

利高工業(株)

【一般機械器具製造業】

(株)ジェテクト

宮田工業(株)

コマツNTC(株)

旭サナック(株)

(株)三輪器械

(株)石川時鐵

(株)ワナミテック

(株)テックササキ

(株)鈴木精機

(株)朝日歯車製作所

ダイベア(株)

大和冷機工業(株)

## 【電気機械器具製造業】

京楽産業(株)

## 【輸送用機械器具製造業】

(株)ケー・アール・アイ

ユタカ工業(株)

トヨタ紡織(株)

(株)三五

三共鋼業(株)

(株)コーリツ

## 【精密機械器具製造業】

(株)マイゾックス

## 【その他の製造業】

(株)MTG

(株)足立ライト工業所

(株)スカイ

## 【通信業】

(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海

(株)ジェネス

## 【放送業】

(株)キャッチネットワーク

(株)アドバンスコープ

## 【情報サービス業】

(株)ソフトテックス

(株)マイナビ

(株)Newデイス

(株)テクノア

## 【インターネット付随サービス業】

(株)アイガ

## 【映像・音声・文字情報制作業】

新日本法規出版(株)

(株)文溪堂

## 【鉄道業】

三岐鉄道(株)

近畿日本鉄道(株)

## 【道路貨物運送業】

丸全昭和運輸(株)

トヨタ輸送(株)

名鉄運輸(株)

アーク引越センター(株)

(株)引越社

JSR物流(株)

(株)サカイ引越センター

福山通運(株)

池田興業(株)

## 【水運業】

トヨフジ海運(株)

(株)フジトランスコーポレーション

## 【航空運輸業】

全日本空輸(株)

## 【倉庫業】

中日運送(株)

東陽倉庫(株)

伊勢湾倉庫(株)

福玉精穀倉庫(株)

## 【運輸に附帯するサービス業】

伊勢湾海運(株)

高末(株)

## 【各種商品卸売業】

ニプロファーマ(株)

## 【繊維・衣服等卸売業】

(株)ロングラン

旭屋(株)

タキヒョー(株)

瀬定名古屋(株)

丹羽幸(株)

(株)エフリード

マスタ(株)

(株)ファッションヤマグチ

丸眞(株)

八木兵(株)

松井商事(株)

吉岡(株)

イトキン(株)

(株)トゥモロランド

内野(株)

## 【飲食料品卸売業】

中部ベジシコーラ販売(株)

大和産業(株)

中部魚錠(株)

丸進青果(株)

(株)イズミック

(株)静岡メイカン

ワルツ(株)

## 【建築材料、鉱物・金属材料等卸売業】

(株)インテルグロー

尾畑長硝子(株)

川本鋼材(株)

(株)進和

名古屋プロパン瓦斯(株)

リンクツ(株)

(株)メイナン

森定興商(株)

(株)ハヤカワカンパニー

高和興業(株)

セイヤ建商(株)

丸栄コンクリート工業(株)

(株)刃物屋トギノ

三重石商事(株)

(株)リネックス・サンシン

タキゲン製造(株)

高島(株)

## 【機械器具卸売業】

(株)光文堂

(株)井高

杉本商事(株)

イスコジャパン(株)

三交企業(株)

東洋興業(株)

(株)東陽

富永電機(株)

名古屋理研電具(株)

朝日産業(株)

(株)プロト

(株)トーシン

(株)トップ

トヨタ部品岐阜共販(株)

(株)扇港電機

豊田鉄工(株)

エイチアールディー(株)

因幡電機産業(株)

(株)日伝

(株)テクノ・スズタ

ユアサ商事(株)

## 【その他の卸売業】

(株)サカモト

川島商事(株)

(株)吉良紙工

(株)ダンロップスポーツ中部

中央紙通商(株)

中北薬品(株)

ミツイコーポレーション(株)

(株)オリバー

(株)ネクシーズ

クオレ(株)

ノバルティスファーマ(株)

東邦薬品(株)

アルフレッサ(株)

## 【各種商品小売業】

(株)Aカンパニー

(有)電化のヤマサキ

(株)清水屋

(株)義津屋

## 【織物・衣服・身の回り品小売業】

(株)BANKAN

(株)ハニーズ

(株)サンエー・インターナショナル

(株)あかのれん

(株)バベ

(株)チュチュアンナ

青山商事(株)

(株)ナノ・ユニバース

(株)エービーシー・マート

## 【飲食料品小売業】

(株)ベイシア

(株)ハロー

(株)フィールコーポレーション

サンフード(株)

(株)アオキスノーバー

マルスフードショップ(株)

(株)カネスエ

(株)フードシティ

マックスバリュ東海(株)

(株)遠鉄ストア

(株)ドミー

(株)柿安本店

(株)マルヤス

(株)リカーマウンテン

(株)ユニマツライフ

(株)ジャパンビブレ

## 【自動車・自転車小売業】

(株)九州マツダ

(株)スズキ自販関東

トヨタカラー富山(株)

愛知トヨタ自動車(株)

愛知日産自動車(株)

トヨタカラー愛豊(株)

名古屋スバル自動車(株)

名古屋ダイハツ(株)

名古屋トヨペット(株)

日産プリンス名古屋販売(株)

(株)ホンダカーズ愛知

ネットトヨタ愛知(株)

(株)ホワイトハウス

(株)ギヤラック

(株)ビッグ

(株)クラフト

三愛自動車(株)

(株)ファブリカコミュニケーションズ

(株)オートパックス愛知

東海マツダ販売(株)

(株)ネクステージ

(株)グッドスピード

浜松日産自動車(株)

中部三菱自動車販売(株)

(株)レッドバロン

日産プリンス三重販売(株)

富山トヨタ自動車(株)

(株)ホンダカーズ三重東

日産プリンス大分販売(株)

(株)アップガレージ

(株)ヤナセ

【家具・じゅう器・機械器具小売業】

(株)サカエ

(株)ヤマダ電機

(株)エディオンEAST

(株)クロップス

(株)エンチョー

(株)ジェイ・ビー

(株)ギガス

上新電機(株)

給湯システムネットワーク(株)

(株)日本ホットライフ

(株)エディオン

(株)ドーム

パナソニックテレコム(株)

## 【その他の小売業】

本多興業(株)

(株)坪井花苑

スズカ調剤薬局

ゲンキー(株)

(株)スギヤマ薬品

(株)やまもと

東海キヨスク(株)

中部薬品(株)

ハートランド(株)

(株)メガネトップ

(株)杏林堂薬局

(株)セリア

(株)イービーエム

つるや(株)

(株)ベリテ

(株)ドン・キホーテ

## 平成24年度学納金の納付について

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 春学期 | 振込用紙発送日：4月2日         |
|     | 学納金納付期限：4月2日～5月1日    |
| 秋学期 | 振込用紙発送日：10月1日        |
|     | 学納金納付期限：10月1日～10月31日 |

学納金は、発送します専用の「振込依頼書」を使って、金融機関の窓口で振込手続きをしていただくようお願いいたします。用紙記載銀行の本支店窓口からの振込みは、手数料が無料となります。また、本学よりあらためて領収書は発行いたしませんので、振込手続の際の「振込金受取書」は大切に保管してください。

期日までに納入が困難な場合は、納入期限を延期することができますのでお問い合わせください。

(注意)三菱東京UFJ銀行のATMとネットバンキングからの振込みはできませんのでご了承ください。

＜問い合わせ先＞

学生課 TEL0561-73-1111(代) 9:00～17:30



西濃運輸から物流の現場や、昨年10月より岐阜県に本社を置く西濃運輸株式会社と協議を重ね「西濃運輸株式会社寄附講座」として開講することが実現した。

また、講座を開講するに当たり1月27日(金)午後3時より、日進キャンパス本部棟2階会議室において大塚泰利西濃運輸株式会社社長、大野榮人学長による調印式が行われた。調印式では、大塚社長と大野学長が覚書に署名、押印し、覚書の交換の後、握手を交わした。大塚社長は「物流は皆さんの生活を支える大事なインフラ。蓄積したノウハウをリアルタイムを持って伝えたい」と話し、大野学長も「企業の生の声が聞けることは学生にとって意義深い」と感謝の弁を述べた。当日は多数の報道関係者も来校し、無事調印式が終了した。

## 「西濃運輸株式会社 寄附講座」 平成24年度より開講

産学連携教育の一環として、本学は西濃運輸株式会社と提携し、経営学部「西濃運輸株式会社 寄附講座」が平成24年度より開講される。

「理論と実践」を教育理念に置く経営学部では、産学連携の一環として「企業経営特論」(優れた経営理念を持ち、激しい環境変化へ独創的に対応する企業を学ぶ)に於いて、

本学で経験を積んできた社員を講師に招き、実例を題材にワークショップ形式の講義を展開。経済のグローバル化時代に企業活動を支えるロジスティックス・サービスの実態を学ぶ中から、物流業界に関心を持つ学生が増え、業界の更なる発展に寄与できる人材を輩出できる機会として期待している。

また、講座を開講するに当たり1月27日(金)午後3時より、日進キャンパス本部棟2階会議室において大塚泰利西濃運輸株式会社社長、大野榮人学長による調印式が行われた。調印式では、大塚社長と大野学長が覚書に署名、押印し、覚書の交換の後、握手を交わした。大塚社長は「物流は皆さんの生活を支える大事なインフラ。蓄積したノウハウをリアルタイムを持って伝えたい」と話し、大野学長も「企業の生の声が聞けることは学生にとって意義深い」と感謝の弁を述べた。当日は多数の報道関係者も来校し、無事調印式が終了した。

## 戦略的産学連携支援GP 成果報告会開催

本学が代表校として取り組んでいる平成21年度採択、文部科学省戦略的産学連携支援プログラム「成長型ICT教材を用いた医療看護心身系大学連携による生活習慣病予防教育体制の構築」が、平成24年度で補助期間の3年が終了するにあたり、補助期間中の成果について報告会が2月18日(土)午後1時より補元キャンパス記念講堂にて開催された。



初めに取組推進責任者である心身科学部・佐藤祐造委員長から本取組の趣旨についての説明の後、小出忠孝孝学院長、三宅養三愛知医科大学理事長、大野榮人学長、佐々木雄太愛知県立大学学長の挨拶の後、山田信博筑波大学学長による基調講演が開催された。

「生活習慣病予防の現状と今後の医学の役割」をテーマに講演があり、本取組の趣旨にあった内容で、今後の生活習慣病予防教育の重要性と課題について色々と実例を挙げながら提供いただいた。

基調講演の後、本取組の各部会代表者から3年間の実績について報告があった。本取組は採択後10年間の継続することが必須となっており、今後の取組について各部会からも活動予定についても説明があった。

会場からも多数の質問や激励の言葉が寄せられ、盛況のうちに終了した。

## 田中貴信歯学部会長 日本歯科医学協会会長賞受賞

本年1月20日、田中貴信歯学部会長が日本歯科医学協会から、研究部門で多大な貢献を行ったとして、平成23年度の日本歯科医学協会会長賞を受賞された。本学において、平成4年度に初めて受賞された原学郎教授以来5人目となる快挙。本邦では全く未成熟であった分野に挑戦し、日本顎顔面補綴学会と日本磁気歯科学会を設立した功績に加え、世界に先駆け、実用性を備えた「磁性アタッチメント」を開発し、歯科界に国際的な磁石ブームを引き起こした田中教授の劇的な業績が評価されたもので



今後益々の田中貴信教授の活躍が期待される。

## 神田真秋 元愛知県知事 本学商学研究科特任教授に就任



神田真秋

神田真秋元愛知県知事が、この度本学商学研究科特任教授として着任される。

神田氏は昭和26年生。昭和45年東海高校卒業、昭和49年中央大学法学部法律学科卒業。平成元年に一宮市長に就任。平成10年12月まで3期務められ、平成11年2月より平成23年2月までの3期の期間愛知県知事として活躍。知事在任中の主な業績として、情報公開

や行政改革を推進するほか、平成17年の中部国際空港(セントレア)開港と愛知万博開催。また、平成22年のあいちトリエンナーレとCOP10の開催等に尽力された。

本学では商学研究科、経営学研究科に開講される「特殊講義(Ⅰ)(地域社会マネージメント)」を担当。法学研究科、総合政策研究科の学生も履修できる。

講義の内容は、知事・市長の経験に基づき、実際の政治的・社会的な事案、事象を取り上げ、それらを分析・検討し、多様なものの見方、考え方を養い、生きた政治の実態の理解・探求を行う。

## 平成23年度「開放講座」修了式

本学では生涯学習の一環として、一般の授業を開放して社会人聴講生を受け入れ、学生と一緒に学ぶ社会人聴講制度を平成8年度より始め今年度で16回目。

平成23年度(春・秋学期)社会人聴講生開講科目数は合計345科目を開講し、聴講生からは多種多様なジャンルから受講科目を選べることで好評を得ている。

今年度の受講者数は延べ人数で1343名。

平成24年1月19日(木)午後4時50分からやきやきテラス3階ホールにて「第16回開放講座修了式」が開催され、社会人聴講生約150名が参加し、大学側からは大野榮人学長、竹市良成教務部長らが出席。大野学長から聴講生を代表して水野克彦氏に修了証が授与された。



続いて大野学長挨拶、学部長を代表して稲垣正巳教養部長からの挨拶の後、水野克彦氏から聴講生を代表して大学側に謝辞が述べられた。

修了式の後、「教育時事問題」と題し、竹市教務部長による講演が行われ、修了式は盛況裡に終了した。

## 第5回 商学部ゼミナール有志による校歌練習会

商学部ゼミナール有志による校歌練習会が12月22日(木)に商学部3年生・4年生を対象に日進キャンパス6315教室にて行われた。

今回の練習指導も第3、4回に引き続き、本学部卒業生兄山祐司氏にお願いし、親切丁寧な指導を今回もしてもらった。

校歌練習は、①小池先生撮影のDVD映像にて2011年度春学期授業開始日(校歌1番)、秋の日進キャンパス(3番)、歌碑(1番)、硬式野球部・明治神宮野球大会準優勝の新聞記事(3番)を見ながら、校歌を聞き感じをつかむ。②商学部卒業生兄山祐司氏による指導。③映像と曲に合わせ歌詞を見ないで歌えるか。映像は卒業式(1-3番)、商学部同窓会「商経会」と兄山祐司氏(1-3番)。

④兄山祐司氏による指導。⑤全員で小池商学部教授のハートモニカに合わせて大合唱。映像はキャンパスの学生生活、日進キャンパスの四季を始め、卒業式やクラブ等、上手く編集された。

参加者は、3年生の近藤ゼミ、伊藤ゼミ、脇田ゼミ、尾崎ゼミの39名と教員5名、計44名。4年生参加は小池ゼミ、伊藤ゼミ、小見山ゼミ、吉田聡ゼミ、尾崎ゼミの39名と教員7名、計46名でした。短時間の練習でしたが、3・4年生とも校歌を歌えるようになった。参加者の感想は、「校歌の練習は良かった、さらに歌えるようにしたい。」「卒業式のとき大声で歌いたい。」「卒業後商経会で歌いたい。」「もっと多くのゼミの参加を」等が多数を占めた。



## 鈴木千代奨学金伝達式が行われる

11月22日(火)午後12時45分より、日進キャンパス仮事務局長室において、鈴木千代奨学金伝達式が行われた。

この鈴木千代奨学金は、外国人留学生のうち学業に秀でる者の経済的負担の軽減を目的としている。

今回の対象者は、文学研究科宗教学専攻専攻博士後期課程1年オ・トリン・チン・ニヤン君、同1年トラン・クオック・フォン君の2名。

伝達式では大野榮人学長、引田弘道国際交流センターの出席のもと、大野学長から奨学金30万円が手渡された。受賞された二人の今後の研究に活かしていただきたい。



# 「第44回リーダーシップ・トレーニング」 大町セミナーハウスで 2泊3日 開催

2月22日、24日の日程で、長野県大町セミナーハウスに於いて、各クラブのリーダーを対象とした「第44回リーダーシップ・トレーニング」が、運動部44名・文化部40名の学生84名、指導助言者の教職員15名、合計99名の参加により開催された。

開講式で黒神聴生部長から「大学における「課外活動」の位置づけとその意義」と題して基調講演があり、引き続き全体講習会では、「「じぶん」を探そう〜自我状態の把握〜」を高田正義心身科学部准教授、「薬物乱用防止講習会」を長野DARC職員により講習が実施された。



2日目には、参加学生を3グループに分け、「目標設定・課題解決・計画」(佐藤悦成文学部教授・村田尚生総合政策学部准教授・平賀正剛経営学部准教授・中山重穂商学部准教授)、「チーム作り・情報共有・コミュニケーション」(高田正義心身科学部准教授・境田雅章教養部准教授・内藤正和心身科学部講師)、「健康管理の必要性・危機管理」(北田豊治教養部准教授・石田倫法法学部准教授)の3つの講義を実施した。どの分科会も特色あるものであり、熱心な指導助言者のもと、参加学生も熱心に受講していた。

また、課題別懇談会では、事前にアンケートを取り、各々が抱える課題について「人



最終日の閉講式では、各課題別懇談会の代表学生が3日間の討議の成果を発表し、高田正義心身科学部准教授の総括講評で全行程を終了した。

研修に参加した各クラブ学生責任者には、今後の活動に於いて、学生生活における課外活動の意義・目的を認識し、人間の成長・社会への貢献意識の向上へと繋げ、研修の成果を存分に発揮してくれることを期待したい。

夜に行われた「懇親会」では、運動部・文化部の垣根を越え、情報交換・交流がなされた。全クラブが結束をし、本学課外活動の活性化および人間力の向上を誓い合っていた。



2月8日、2月10日にかけて、米国大使館/東京アメリカンセンター&慶應義塾大学SFCが主催するアントレプレナーシップセミナー&ビジネスプランコンテストが開催された。このセミナー&コンテストは、東日本大震災からの復興、経済再生、被災地の更なる発展を目指すこと、そして、

## 経営学部学生チームが「Regional Contribution Award」を受賞

それを担う人材を育成することを目的としたもので、全国より一次審査(書類審査)を通過した12チームが招待され、本学経営学部現代企業学科2年生、高羽剛史君、岩本梓さん、野崎瞳さん、堀耕太郎君、山田芽生さん等による学生チームもその1チームに選ばれた。

3日間のビジネスプランコンテストでは、プレゼンテーションによる審査が行われ、二次審査、最終審査を経て、本学学生チームの事業計画「被災者の自立支援プロジェクト「キックオフ」」が、「Regional Contribution Award」(地域貢献賞)を受賞。他には、石巻専修大学チームがActualization Award、会津大学チームがInnovative Awardをそれぞれ受賞した。

事業計画では、精神的ケアと経済的支援の両側面を兼ね備えた「内職」に着眼し、東日本大震災で被害を受けた地



域(特に宮城県エリアを想定)を、北エリア(山陸地帯)と南エリア(農業地帯)に分け、それぞれの地理的条件と被災状況に応じた「被災者の自立支援プロジェクト」を提案。

現在、協賛していただいた企業とプロジェクト実行に向けて活動中で、今後の学生達の活躍が期待される。なお、事業計画の詳しい内容については、経営学部事務室まで問い合わせください。

12月19日(月)午後4時に岩手県住田町の多田欣一町長をはじめ4名の方が表敬訪問に来校した。

昨年度、本学から3班に分かれて東日本大震災に伴い住田町を基地として陸前高田市、大船渡市にてボランティア活動したことについて、2市の市長に代わりお礼として本学に來校された。

通常のボランティアではベイスキャンの板の間での宿泊を余儀なくされるところを、住田町のご好意により住田町役場と同じ場所にある保健福祉センター、農林会館の和室を借用させていただいた

ことや、滞在中の学生達にも色々ともてなしをしていただいたことに感謝の言葉を本学から町長に伝えた。



## 岩手県住田町町長本学表敬訪問

愛知学院大学が位置している所轄の愛知警察署が、管内における街頭犯罪・交通事故抑止を目的に、1月27日(金)午後5時30分から1時間の間、「街頭犯罪・交通事故抑止スリートグッスキャンベン」を、日進キャンパス正門前の県道瀬戸大府東海線の交差点で、信号待ちをする乗用車のドライバーに対して防犯、交通事故抑止の啓蒙の案内のキャンペーンを実施した。

愛知警察署管内では刑法犯認知件数や交通事故が多発しており、住民の生活安全、交通安全ともに有効な策を講ずる必要があり、今回のキャンペーン実施の運びとなった。

学外サークル活動における学生の死亡事故について

他大学及び本学の学生による学外テニスサークルの合宿中において、本学の学生が急性アルコール中毒で亡くなる事故が起きました。

本学は今回の件を教訓として、今後もより一層のアルコール中毒の危険性について、継続的、かつ、積極的に学生に対し、一層の教育活動、啓発活動に努める所存です。

教職員並びに学生の皆さんのご協力をお願いします。

全国地区対抗大学ラグビー大会  
本学ラグビー部  
2年ぶり3度目  
優勝

1月6日(水)、瑞穂ラグビー場で全国地区対抗大学ラグビー大会決勝戦が行われ、本学ラグビー部(東海・北陸代表)が、東京都立大学(関東1区)に33-15で勝ち、2年ぶり3回目の優勝を飾った。



# 第9回ボンド大学 交換留学体験記

文学部  
国際文化学科3年

角南秀明

今回、私はオーストラリアのクイーンズランド州、ゴールドコーストにあるボンド大学の学部生として三ヶ月間の交換留学をさせて頂きました。愛知学院大学からの学部への留学の前例が無いということを出発前は行ってみたいという不安もありましたが、昨年1年間のカナダでの留学生活という経験のお陰もあり、比較的楽な心持でオーストラリアでの大学生活を始めることが出来ました。

ボンド大学は世界各地からの交換留学生を受け付けており、アジアはもちろん、北中米、南米、ヨーロッパ、アフリカ、中東と国際色に富んだクラスや雰囲気があったというのが本校の特徴であったと言えるところでした。また学習施設も充実しており、学生にとって不可欠なものが多く整備されていたと感じました。また大変驚いたことは、大学主催のイベントがとても多いことで、パーベキューを始めとしたイベントが週に1度程度の頻度で催されたり、オーストラリアの人々の生活スタイルを見ることが出来ました。

授業の内容は学部ということもあったのですが、初めの大学生活ということもあって、英語に関するクラスを多めに履修しました。また中国語という新しい言語にも挑戦しました。クラスメイトは様々なクラスから集まっていたので、もちろんオーストラリア人のクラスメイトもいてとても楽しい授業の雰囲気でした。また海外の生徒の学習に対する意欲や真剣さには刺激を受けたこともあり、自ら学習するモチベーションにもなりました。



あちらでの生活は私自身体験したことのない寮での生活で、一つの建物に学生が多く住んでおり、リビング、シャワールーム、トイレを数人で共用し、個々に一人部屋が与えられるというシステムでした。食事はあらかじめ寮に入る前に登録するダイニングプランというもので補い、生徒のIDカードにお金をチャージして、それをクレジットカードのように学校の中にあるカフェや、レストランで使う

というようにして食事をしていました。寮での生活はとても充実していて、近くに住む友人と毎日のように集まって食事したり、授業後は図書館や、コンピュータールームで課題や、授業の予習をし、週末にはサーファーズパラダイスという街や海、ショッピング街に出かけたりと楽しいキャンパスライフを送ることができました。

この留学生活は、もう3ヵ月たったのかと思ってしまうほどあっという間に感じました。その中でかけがえのない友人や経験を得られたと思います。そして、全ての単位を良い成績で獲得できたことは大きな自信へと繋がりました。この経験から得たものを将来へ活かしていきたいと思っています。そのような体験をさせていただいた事に感謝しなければならぬと感じています。

本当にありがとうございます。

文学部  
グローバル英語学科3年

柏木翔子

行く前はどんな留学になるかまるで分からなかったが、この度たくさんものを得ることができた。はじめて一人旅での海外、日本を立つ前は不安だった。家から学校まで、自転車です15分。最初、ホストファミリーから学校までの道を教えて

もらいはじめて着いたとき、これからここに通うんだと思うと少しわくわくしてきた。最初の1週間は、一般英語コースとビジネス英語コースを体験した。2週目からは、EAP（これからボンド大学で勉強したい人向けの、大学で学べるような英語の力をつけるコース）に変更し、最終的に、3つあるレベルのうち、すぐくハードと聞いていた、一番上のレベル3のクラスに入ってもらったことができて、合計13週間、このコースで過ごした。

クラスメイトは日本人のほかに、フランス、コロンビア、中国、ロシア、ブラジル、インドネシアから来ていたが、中国人が多く、中には、日本に興味を持っていて、日本語を勉強している子もいた。困ったときにはいろいろ助けてもらったり、調子が悪かったときは心配してくれたりして、やさしい子が多いことに気づいた。

皆、自分より確実に英語ができた。日常会話は難なくこなし、グループワークやプレゼンで説明するときも、流暢に英語を話していた。クラスの先生は早いスピードで授業を進めていて、授業についていくのが大変だった。プレゼンの時、私は皆のようにはうまくいかなかった。自分自身の事をし、顔を上げて聞いてくれなかったことなどで、度々悔しい思いもした。

授業では、アカデミックな英単語を習ったり、環境問題、技術、建築等、さまざまな質問分野にふれ、難しく感じたが、少し知識を広げることができたと思う。また、このコースでは、今までやったことのないようなことを経験できた。自分の好きなテーマにつ

いて、15分間のプレゼン、20分間のリスニングを聞いて、300字以内にとどめて、300字以内の前でやるデパート等。次々と課題が与えられ、2つ同時に与えられることもあった。これらは私にとって難しく、終わらせるのに時間もかかったが、ホストファミリー、友達にも手伝ってもらいながらも、やることができた。そして、仕上げる度に、自信になっていった気がした。

ホストファミリーはいつも早起きで、ハードワーク。また、よく話し合う夫婦で、どちらかに話したことが、もう一人にも伝わっていた。いつも私にプラスの言葉をかけてくれたり、励ましてもらっていた。この家族から、色々学ぶことができた。

語学学校は、大学と同じ敷地内にあり、しばしば大学生にも接する機会があった。また、私たちも、大学生が使っている、図書館、スポーツセンターを使うことができた。授業後は、週一回ラテンダンスクラブに参加したり、大学のスポーツセンターでやっている、ズンバやヨガなどのクラスが好きになり、毎日のように通っていた。そこで、友達もできて、大学内のどこかで会えば、話をした。これらに参加したことにより、クラス外でも友達が増えて良かった。

た。平日は、朝7時くらいに学校に行き、夜7時前までいて、今思えば、自分でも驚くぐらい、アクティブに行動できた。コースもいよいよ終わりに近づいた頃、デパートが、法学生向けの模擬裁判所で行われた。それぞれ1チーム3人で、私のチームメイトはフランスでもよくできる、中国人とフランス人の女の子。話し合いの末、前日に原稿が完成し、チームの子に迷惑かけたくないのと、30人以上の生徒が見ている前で恥はかきたくないと思っ、前夜必死に覚えた。本番ちゃんと全部話せるか分からなかったが、直前はすごく緊張したが、原稿を思い出しながら、慎重に話し、奇跡的にも3分間話しきることができた。終わった直後、チームの子から、"Shoko, you spoke very well!" と言ってもらえ、席にもどった後も、先生方と、クラスの皆にも、良かったよ、と今までの人生の中で一番という程ほめてもらえた。

留学期間中は、たくさん友達に助けられ、優しくしてもらった。中でも特に心に残っているのは、相談に乗ってもらったり、クリスマスパーティーに呼んでくれたり、家に呼んでもらって、映画を見て笑ったりした、マレーシア人のティムとアナベル。お互いよく見て回るのが好きで、シドニー旅行に行ったときはずっと一緒にいてくれたメキシコ人のモニカ。「もっと皆と喋ったら。」と指摘してくれた「ルームメイトになろうよ。」と誘ってくれた中国人のブリアやジョイ。。思い出せば書ききれないくらいある。今回留学を経験して、自分の中で大きく考え方が変わった。

た。1つは、思い込みやステレオタイプが強すぎると、せいまい世界しか見えないが、心を開いて、いろんな子と話したほうが楽しいし、実際は、前に持っていたイメージとは違っていたことがわかる場合もあるということ。また、それに伴い、以前は日本の大学のことしか考えられなかったが、海外の大学に入り、勉強して卒業することに挑戦したくなった。

現地には、日本人もたくさんいて、ここでも自分と同じ日本人が頑張っているんだと思うと心強くなった。

オーストラリアを離れるときは、自分に優しくしてくれた人と思うと、涙が出てきたが、日本に着陸した時は日本に帰れたことがうれしくて、自然と笑みが浮かんだ。留学中は、

自分の国についても改めて考えさせられ、日本のよさ、苦手なところを身をもって実感できた。

自己最長の4ヶ月間の海外生活で、辛かった事、苦しかったこともたくさんあったが、それ以上に、楽しかったこと、うれしかったことがあり、振り返ればこれらすべての経験が、私を成長させてくれたように思う。それから、この留学を通して、たくさんの人に支えしてもらった。行く前は日本の友達、家族、先生方に応援してもらい、また現地では友達がいなかった私の留学生活も、乗り切れた。この留学で得た経験や、私を支えてくれた人々への感謝の気持ちを忘れず、これから生活していきたい。

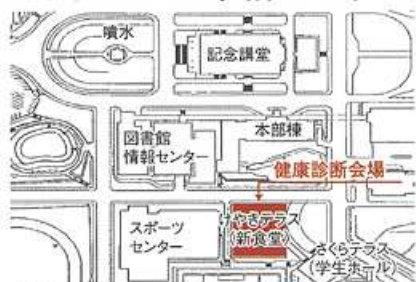


た。1つは、思い込みやステレオタイプが強すぎると、せいまい世界しか見えないが、心を開いて、いろんな子と話したほうが楽しいし、実際は、前に持っていたイメージとは違っていたことがわかる場合もあるということ。また、それに伴い、以前は日本の大学のことしか考えられなかったが、海外の大学に入り、勉強して卒業することに挑戦したくなった。

現地には、日本人もたくさんいて、ここでも自分と同じ日本人が頑張っているんだと思うと心強くなった。

自分の国についても改めて考えさせられ、日本のよさ、苦手なところを身をもって実感できた。

## 会 場 けやきテラス (3階ホール)



■注意事項  
※右記の日程で受診できない方は、外部の医療機関で健診を受け、保健センターに提出して下さい。  
(用紙は保健センターにあります。外部での検査費用は自己負担をお願いします。)  
また平成24年3月以降に外部の医療機関で健診を受けた方は、その診断書の写しを提出して下さい。  
(この件に関するお問い合わせ先)  
愛知学院大学 保健センター

平成24年度の定期健康診断を下記のとおり実施いたします。  
期間内のいずれかの日時に必ず受診して下さい。  
受診当日は、学生証・筆記用具・眼鏡(眼鏡使用者のみ)を持参して下さい。

## 日 時 ※日進学舎に在籍する下記の学年

|                              |               |
|------------------------------|---------------|
| 学 部                          | 4年生           |
| 大学院                          | 修士2年生・博士3年生   |
| 法科大学院                        | 3年生(既修2年生)    |
| 平成24年4月3日(火)～4月5日(木)         |               |
| 午前/9:30～11:15 午後/12:15～16:30 |               |
| 学 部                          | 1・2・3年生       |
| 大学院                          | 修士1年生・博士1・2年生 |
| 法科大学院                        | 1・2年生         |
| 平成24年5月15日(火)～5月19日(土)       |               |
| 午前/9:00～11:15 午後/12:15～17:30 |               |
| ※5月19日(土)は9:30～13:00         |               |

## 平成24年度健康診断(日進学舎)